

日本発ドイツ便り～Frohe Weihnachten!

今年も明日はクリスマス。ドイツ語では Weihnachten（ヴァイナハテン）といいます。日本では24日のクリスマスイブが一番重要で、ケーキを食べてご馳走を食べて大騒ぎ、街はどこもイルミネーション、というのが定番ですが、ドイツではその反対。24日の夕方、4時ごろを境にお店もレストランも全て閉まり、みんな家に急ぎます。あとは家族そろって過ごす日です。旅行者にとっては、クリスマス市の明かりも消えて、街の繁華街の明かりも消えて、レストランも開いているところは少なく……。とちょっと悲しい日になってしまいます。

25日と26日はクリスマスで祝日です。

ドイツのクリスマスは実は11月から始まっています。12月25日から4週間前の土曜日か日曜日から「アドヴェント」とよばれる期間で、ここからクリスマス市が開催されます。そして終わりの日も26日ではなくて、1月6日。クリスマスツリーの飾りなどを片付け始めるのは1月6日が過ぎてからです。

今年のクリスマス市の写真を提供してもらいました。



ニュルンベルクの Christkindlmarkt



おもちゃの街、ニュルンベルクのクリスマス市で売られている人形。有名な「西洋すもも人形」です。(Zwetschgenmännle と言うらしいけど、なんて読むんだろう?)よく見てください。頭はくるみ、体は干したイチジクやすもも、プルーンで出来ているんですよ！二段目にはしごを持ったのは「煙突掃除」の人です。

四葉のクローバー、豚、てんとう虫、きのこ、煙突掃除人。この5つの共通点はなんだと思いますか？幸運のシンボルなんです。特に煙突掃除人さんは年末年始、見かけます。実際にドイツ・オーストリアでは家に暖炉がある家も珍しくはなくて、今でも健在。そして職業ごとに伝統的に制服があって、今でも本当にこの人形みたいな格好の職人さんがいるんです。見かける機会はそうないですが、幸運のシンボルです。



これはウィーンのシェーンブルン宮殿のクリスマス市。小さいけど、ちょっと優雅な気分です。



ウィーンのクリスマス市は市内何箇所かで開催されていますが、一番大きいのがここ。市庁舎前です。今年は経費削減ではなく、環境への配慮のため、明かりは初めてLEDを使っているそうです。賑わいとグリューワインのハーブとワインの香り、お菓子の甘い香り、きらきら光る明かり、市に来ている人の明るい顔、その辺がお届けできないのは残念ですが…。これは是非ご自身で体感してみてください。

そしてクリスマスが終われば、新年。日本では「良いお年をお迎えください！」ですがドイツでは「新年にうまく滑り込んでね！」です。受身ではなくて自発的に滑り込むんですね…。どうぞステキなクリスマスを！そして今回は一度、自発的に2009年に滑り込んでみてください！

Frohe Weihnachten und Guten Rutsch ins neue Jahr!

Merry Christmas and a happy new year!